

国語科 《第1学年》年間指導計画

国語科 教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。

国語科 第1学年の目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを確かなものにするようにすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

知は知識・技能、思は思考・判断・表現、感は主体的に取り組む態度

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
4	言葉に出会うために (6時間)	・音声の動きや仕組みについて、理解を深めることができる。	・朝のリレー ・野原はうたう	知 音声の動きや仕組みについて、理解を深めている。 感 音声の動きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。	話し言葉と書き言葉 (3~4年)
	1 学びをひらく (11時間)	・場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。 ・目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。	・シンジュン ・情報を整理して書こう	知 登場人物の心情や行動を表す言葉に着目して作品を読み進めている。 集めた情報を、観点に沿って比較したり、共通点を見つけて分類したりして整理している。 思 場面ごとに会話や描写を整理して、登場人物の心情や関係の変化を捉えている。 目的や相手を意識して、情報を集めて整理し、説明の文章の構成を考えている。 感 場面の展開について、描写を基に積極的に捉え、学習課題に沿って感想を交流しようとしている。 集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明しようとしている。	読むこと 構造の内容と把握 (5~6年)
6	漢字の組み立てと部首 (10分×5)	・漢字の部首について理解し、部首に注目して漢字の読み書きができる。	・漢字の組み立てと部首	知 代表的な部首とその名前を理解し、その部首を使った感じを書くことができる。	
	2 新しい視点で (13時間)	・文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。 ・自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えることができる。	・ダイコンは大きな根？ ・ちょっと立ち止まって ・話の構成を工夫しよう	知 筆者の主張と事例との関係を理解している。 声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながらスピーチをしている。 思 序論・本論・結論の段落のまとまりに着目し、要旨を捉えている。 聞き手を想定し、伝えたいことが明確になるように、構成を考え、話す順番を工夫している。 感 進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。 話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。	話すこと 表現 (3~4年)
7	書写 (5時間) 読みやすく書くための楷書	・点画の種類を確かめ、筆使いに注意して楷書で書くことができる。	・漢字の筆遣い ・楷書に調和する仮名	知 点画の種類を確かめ、筆使いに注意して書いている。 感 学習課題に沿って進んで書こうとしている。	毛筆による書写 (3~6年)
	情報社会を生きる (3時間)	・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。	・情報を集めよう ・情報を読み取ろう ・情報を引用しよう	知 グラフや文章の中の情報を関連づけて情報を整理し、引用のしかたや出典の示し方を理解している。 感 引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。	情報の整理 (3~4年)
	3 言葉に立ち止まる (8時間)	・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。	・詩の世界 ・比較で広がる言葉の世界	知 詩の中の語句の意味を捉えながら、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 思 詩に描かれている情景を想像し、表現の効果を考えている。 感 文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。	読むこと 精査・解釈 (5~6年)
	読書生活を豊かに (2時間)	・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。	・読書を楽しむ ・本の中の中学生	知 読書が、知識を得たり、新しいものの見方や考え方を知ったり、自分の考えを広げたりすることに役立っていることを理解している。 感 文章を読んで理解したことに基いて、積極的に自分の考えを確かなものにし、学習課題に沿って本を読んで考えたことを伝え合おうとしている。	読書 (5~6年)
9	4 心の動き (16時間)	・場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈することができる。	・大人になれなかった弟たちに…… ・星の花が降るころに	思 場面ごとの状況や、場面と人物などの描写を結び付けて、内容を読み深めている。 感 進んで場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。	読むこと 精査・解釈 (5~6年)

10	書写〈3時間〉 読みやすく書くための楷書	・文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書と楷書に調和する仮名で書くことができる。	・文字の大きさと配列	知 進んで用紙に合った文字の大きさ、配列などについて考え学習課題に沿って書こうとしている。	文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書と楷書に調和する仮名で書いている。	毛筆による書写 (3~6年)
	漢字の成り立ち (10分×5)	・漢字の成り立ちについて理解し、漢字からその成り立ちを区別できる。	・漢字の成り立ち	知 漢字の成り立ちについて理解し、読み方や意味を予想することができる。	漢字の成り立ちについて理解し、読み方や意味を予想することができる。	
	5 筋道を立てて 〈17時間〉	・書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。 ・話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。	・「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ ・根拠を示して説明しよう ・話題や展開を捉えて話し合おう ・大阿蘇	知 情報を整理し、自分の考えを裏づける資料やデータを選び、出典の示し方に気をつけながら引用している。自分の考えをまとめる際に、意見に対する根拠を考えている。 思 自分の考えに説得力をもたせるようなレポートの構成を考えている。話し合いの話題や展開を捉え、互いの発言を結び付けながら考えをまとめている。 感 文章の構成や展開を粘り強く考え、学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。積極的に互いの発言を結び付けて考えをまとめ、学習の見通しをもってグループ・ディスカッションをしようとしている。	書くこと 構成の検討 話すこと 話し合いの進め方の検討 (5~6年)	
11	書写〈4時間〉 読みやすく速く書くための行書	・漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を書くことができる。	・行書の特徴 ・丸み・点画の連続	知 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を書いている。 感 進んで行書の書き方を理解し、学習課題に沿って書こうとしている。	漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を書いている。	毛筆による書写 (3~6年)
	6 いにしへの心に ふれる 〈7時間〉	・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。	・蓬萊の玉の枝 ・今に生きる言葉	知 音読に必要な文語のきまり、古文特有のリズムについて理解し、その世界に親しんでいる。 感 進んで古文を音読し、学習課題に沿って描かれている古典の世界を想像しようとしている。		伝統的な言語文化 (5~6年)
	書写〈4時間〉 読みやすく速く書くための行書	・漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を書くことができる。	・点画の変化	知 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を書いている。 感 進んで行書の書き方を理解し、学習課題に沿って書こうとしている。	漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を書いている。	毛筆による書写 (3~6年)
12	7 価値を見いだす 〈9時間〉	・根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。	・「不便」の価値を見つめ直す ・助言を自分の文章に生かそう	知 意見と根拠の関係に着目して、必要な情報を取り出し、整理している。 思 立場を明確にして、自分の考えの根拠となる事例を挙げながら、意見をまとめて書いている。 感 積極的に必要な情報に着目して要約し、自分の考えを文章にまとめようとしている。	書くこと 考えの形成 記述 (5~6年)	
	読書に親しむ 〈1時間〉	・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。	・考える人になろう	知 読書の意義を理解している。 感 今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	読書 (5~6年)	
	書写〈4時間〉 学んだことを活かして書こう	・これまでに学習した楷書・行書の書き方を活かして作品をつくることができる。	・書き初め	知 楷書・行書の特徴の違いを理解している。 感 学んだことを活かして、進んで作品づくりに取り組んでいる。	毛筆による書写 (3~6年)	
1	8 自分を見つめる 〈27時間〉	・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする ・根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 ・相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。	・少年の日の思い出 ・随筆二編 ・構成や描写を工夫して書こう ・一年間の学びを振り返ろう	知 場面描写の言葉や登場人物の心情を表す言葉に着目している。体験や思いを伝えるために、情景や心情を表す言葉を適切に選んで使っている。声の大きさ、話す速さ、間の取り方などに注意しながら発表をしている。 思 登場人物の考え方や感じ方について、自分の考えをもっている。書きだしや結び、出来事を、言葉を吟味し、描写を工夫して書いている。聞き手や場に応じて、発表の言葉や表現を変えるなどの工夫をしている。 感 文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。集めた材料を積極的に整理し、今までの学習を生かして要点をフリップにまとめ、発表しようとしている。	読むこと 考えの形成 書くこと 推敲 話すこと 表現・共有 (5~6年)	
	3					

国語科 《第2学年》年間指導計画

国語科 教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。

国語科 第2学年の目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

知は知識・技能、思は思考・判断・表現、感は主体的に取り組む態度

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
4 5	1 広がる学びへ (16時間)	<ul style="list-style-type: none"> 文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えることができる。 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 見えないだけ アイスプラネット 枕草子 多様な方法で情報を集めよう 	<p>知 登場人物の心情や考え方が表れた語句に注意して、作品を読んでいる。 集めた情報を表や図にまとめ、整理している。</p> <p>思 「くうちゃん」の言動から特徴を捉え、他の登場人物との関係を人物相関図にまとめている。 知りたいことに適した方法を考えて、情報を収集している。また、収集した情報を分類・整理し、自分の目的に合うものを取捨選択している。</p> <p>感 積極的に登場人物の設定のしかたなどを捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。 粘り強く多様な方法で集めた材料を整理し、学習の見通しをもって職業ガイドを作ろうとしている。</p>	読むこと 構造の内容と把握(5~6年)
	2 多様な視点から (13時間)	<ul style="list-style-type: none"> 文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができる。 資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> クマゼミ増加の原因を探る 魅力的な提案をしよう 	<p>知 文章が六つの部分でできていることを理解し、線や矢印を用いてそれらの関係を整理している。 相手が自ら動きたいと思えるような言葉や表現を用いてプレゼンテーションをしている。</p> <p>思 文章中の図表やグラフが何のために示されているのかを、対応する文章を基に考えている。 資料を用いて、提案内容が視覚的にもわかりやすくなるよう工夫している。</p> <p>感 積極的に文章と図表などを結び付け、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。 粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫し、学習の見通しをもってプレゼンテーションをしようとしている。</p>	話すこと 表現(3~4年)
6	熟語の構成 (10分×5)	<ul style="list-style-type: none"> 熟語の構成について理解し、熟語の意味を予想できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 熟語の構成 	<p>知 熟語の構成を意識しながら、漢字を読んだり書いたりしている。</p>	
	書写(5時間) 文字を使い分け	<ul style="list-style-type: none"> 目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 楷書と行書の使い分け 	<p>知 目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで書いている。</p> <p>感 書体を選択して書く必要性を理解し、学習課題に沿って適切な書体を選んで書こうとしている。</p>	硬筆による書写(3~6年)
	情報社会を生きる (3時間)	<ul style="list-style-type: none"> 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> メディアを比べよう メディアの特徴を生かして情報を集めよう 	<p>知 情報メディアの特徴を、表や図などにまとめている。</p> <p>感 粘り強く観点を明確にして文章を比較し、学習課題に沿って目的や状況に応じたメディアの選び方を理解しようとしている。</p>	情報の整理(3~4年)
7	3 言葉と向き合う (9時間)	<ul style="list-style-type: none"> 観点を明確にして短歌を比較するなどし、短歌の構成や表現の効果について考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 短歌に親しむ 言葉の力 	<p>知 情景などを表す語句に着目して作品を読み深めている。また、情景や心情が生き生きと伝わる言葉を選んで短歌を創作している。</p> <p>思 複数の短歌を比較し、言葉の選び方や順序にどのような特徴や効果があるかを考えている。</p> <p>感 進んで短歌の構成や表現の効果について考え、学習の見通しをもって短歌を創作しようとしている。</p>	読むこと 精査・解釈(5~6年)
	読書生活を豊かに (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> 本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 翻訳作品を読み比べよう 	<p>知 活動を通して本の魅力を感じ、今後どんな本を読みたいかを考えている。</p> <p>感 今までの学習を生かして、本の魅力や感想を共有しようとしている。</p>	読書(5~6年)
9	4 人間のきずな (14時間)	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 盆土産 字のないはがき 表現を工夫して書こう 	<p>知 登場人物の言動や情景を表す語句に着目し、それらが作品に与える印象を述べている。 相手や目的に応じて、敬語を適切に使って通信文を書いている。</p> <p>感 登場人物の言動から人柄や心情を読み取り、それらが話の展開や作品の印象にどう関わるかを捉えている。 自分の思いや考えが伝わるように、具体例を加えたり、表現の工夫をしたりして通信文を書いている。</p>	読むこと 精査・解釈(5~6年)

				態	粘り強く登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って作品の印象を伝え合おうとしている。 積極的に自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、学習課題に沿って通信手段を選び、通信文を書こうとしている。	
10	5 論理を捉えて (16時間)	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や論理の展開について考えることができる。 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> モアイは語る 根拠の適切さを考えて書こう 立場を尊重して話し合おう 月夜の浜辺 	知	筆者の意見(主張)がどのような根拠によって支えられているかを理解し、その根拠が適切かを吟味している。自分の意見を支えるための適切な根拠を選んでいる。説得力のある根拠と共に、意見をまとめている。	書くこと 構成の検討 話すこと 話し合いの進め方 の検討 (5~6年)
				思	文章全体の構成を捉え、意見と根拠の結び付きや論の進め方を吟味している。 根拠となる事実を具体的に示したり、想定される反論に対する意見を示したりしている。 互いの意見の共通点や相違点、話し合いの論点を踏まえて話している。	
				態	粘り強く論理の展開について考え、学習の見通しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。 粘り強く根拠の適切さを考え、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。 進んで互いの立場や考えを尊重し、学習の見通しをもって討論しようとしている。	
11	類義語・対義語 (10分×5)	<ul style="list-style-type: none"> 類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解できる。 	類義語・対義語	知	類義語・対義語・多義語の概念について、具体的な例を当てはめて理解している。	
	書写<6時間> 読みやすく速く書くための行書	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の行書の書き方を理解して、読みやすく速く書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 点画の省略 筆順の変化 	知	漢字の行書の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。	毛筆による書写 (3~6年)
				態	行書の書き方を理解し、学習課題に沿って進んで書こうとしている。	
	6 いにしへの心を訪ねる (10時間)	<ul style="list-style-type: none"> 現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 平家物語 徒然草 漢詩の風景 	知	与一や義経の言動、扇の的を射落とした後の人々の反応に着目し、古人のものの見方や考え方を捉えている。	伝統的な言語文化 (5~6年)
				態	進んで登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。	
	書写<5時間> 読みやすく速く書くための行書	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の行書の書き方を理解して、読みやすく速く書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 行書に調和する仮名 行書と仮名の調和 	知	漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。	毛筆による書写 (3~6年)
				態	行書とそれに調和した仮名の書き方を理解し学習課題に沿って進んで書こうとしている。	
12	7 価値を語る (9時間)	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 君は最後の晩餐を知っているか 魅力を効果的に伝えよう 	知	二つの文章を比較し、それぞれの特徴や共通点・相違点を表に整理している。	読むこと 精査・解釈 (5~6年)
				思	二つの文章に書かれていることを比較したり、関係づけたりしながら、それぞれの文章が書かれた目的や意図を考えている。	
				態	粘り強く観点を明確にして文章を比較し、今までの学習を生かして考えたことを文章にまとめようとしている。	
	読書に親しむ (1時間)	<ul style="list-style-type: none"> 本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 研究の現場ようこそ 	知	教材文を通して研究者の考え方や探求心に触れ、研究に関わるさまざまな本を読もうとしている。	読書 (5~6年)
				態	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして感想を伝え合おうとしている。	
	書写<4時間> 学んだことを活かして書こう	<ul style="list-style-type: none"> これまでに学習した楷書・行書の書き方を活かして作品をつくることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 書き初め 	知	楷書・行書の特徴の違いを理解している。	毛筆による書写 (3~6年)
				態	学んだことを活かして、進んで作品づくりに取り組んでいる。	
1	8 表現を見つめる (27時間)	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 走れメロス 構成や展開を工夫して書こう 国語の学びを振り返ろう 	知	これまでに学習した作品の構成や展開を振り返り、どんな点を自分の文章に生かしたいかを考えている。 壁新聞のテーマを話し合う際に出た意見を、表などを用いてまとめている。	読むこと 考えの形成 書くこと 推敲 話すこと 表現・共有 (5~6年)
2				思	「メロス」の行動や考え方で共感できたところ・できなかったところを、自分の知識や経験と結び付けて考えている。 書いた物語を友達と読み合い、よい点や改善点を伝え合っている。 壁新聞のテーマと内容について、お互いの意見の共通点・相違点を明らかにしながら話し合い、結論を導いている。	
3				態	粘り強く登場人物の言動の意味などについて考え、学習の見通しをもって作品の魅力や文章を文章にまとめようとしている。 粘り強く文章の構成や展開を工夫し、今までの学習を生かして壁新聞を作ろうとしている。	

国語科 《第3学年》年間指導計画

国語科 教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。

国語科 第3学年の目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

知は知識・技能、思は思考・判断・表現、感は主体的に取り組む態度

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
4	1 深まる学びへ <13時間>	<ul style="list-style-type: none"> 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えることができる。 話の内容を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界はうつくしいと 握手 	<p>知 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やしている。</p> <p>思 文章の内容に沿って、登場人物の生き方や価値観を読み取り、自分の知識や経験と比較しながら考えている。</p> <p>感 進んで語感を磨き、友達の考えやこれまでの学習を生かして詩の解釈や朗読をしようとしている。</p>	読むこと 構造の内容と把握 (5~6年)
		<ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。 具体と抽象など情報と情報の関係について理解を深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価しながら聞く 学びて時に之を習ふ 	<p>知 立場ごとの主張と根拠、共通点と相違点を整理し、根拠の適切さや取り入れたい表現などを伝えあっている。</p> <p>思 孔子の人間の生き方に関する考えを、自分の生き方や生活と関連づけて考えている。</p> <p>知 具体と抽象など情報と情報の関係について理解を深めている。</p>	聞くこと 表現 (3~4年)
5	2 視野を広げて <10時間>	<ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えることができる。 自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開を考え話の構成を工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 作られた「物語」を超えて 具体化・抽象化 説得力のある構成を考えよう 	<p>思 論説の特性を踏まえ、論理の展開を図式化するなどして捉えている。</p> <p>感 相手を説得できるように、論理の展開などを考えて構成を工夫し、これまでの学習を生かして自分の考えを話そうとしている。</p>	
		<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 全国文字マップ 文字の使い分け 	<p>知 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書いている。</p> <p>感 積極的に書き文字の特徴と効果を理解しようとしている。</p>	硬筆による書写 (3~6年)
		<ul style="list-style-type: none"> 熟語には、音または訓を重ねる読み方と、音と訓を組み合わせた読み方があることを理解し、活用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 熟語の読み方 	<p>知 漢字の音訓や、熟語における音訓の組み合わせに注意して、漢字を読んだり書いたりしている。</p>	
6	書写<4時間> 文字を使い分ける				
		<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 全国文字マップ 文字の使い分け 	<p>知 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書いている。</p> <p>感 積極的に書き文字の特徴と効果を理解しようとしている。</p>	硬筆による書写 (3~6年)
		<ul style="list-style-type: none"> 熟語には、音または訓を重ねる読み方と、音と訓を組み合わせた読み方があることを理解し、活用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 熟語の読み方 	<p>知 漢字の音訓や、熟語における音訓の組み合わせに注意して、漢字を読んだり書いたりしている。</p>	
7	情報社会を生きる <3時間>	<ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう 	<p>思 観点ごとに情報を整理し、情報の客観性や信頼性を確認しながらまとめている。</p>	情報の整理 (3~4年)
		<ul style="list-style-type: none"> 文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。 多様な読み手を説得できるように論理の展開を考えて、文章の構成を工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 俳句の可能性 俳句を味わう もっと伝わる表現を目指して 	<p>知 俳句で使われている語句の意味を理解したり、豊かなイメージを喚起する効果的な語句に着目したりしている。</p> <p>思 伝えたいことが効果的に伝わる語順を考えて俳句を創作している。</p>	読むこと 精査・解釈 (5~6年)
		<ul style="list-style-type: none"> 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「私の一冊」を探しにいこう 	<p>知 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。</p> <p>感 今までの学習を生かして本を選び、読んだことを書評にまとめたりしようとしている。</p>	読書 (5~6年)
9	4 状況の中で <13時間>	<ul style="list-style-type: none"> 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。 目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶 故郷 論理の展開を整える 	<p>知 作品を通して自分の人生や生きている社会について深く考えるきっかけとしている。</p> <p>思 自分の知識や経験と比べたり、語り手や人物の立場、時代背景などを変えて読んでみたりして、作品のもつ特性や価値について考えている。</p> <p>感 目的や意図に応じた表現化を確かめ、情報と情報との関係の知識を生かして推敲しようとしている。</p>	読むこと 精査・解釈 (5~6年)
		<ul style="list-style-type: none"> 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。 文章の種類を選択し、読み手を説得できるように論理の展開を考えて文章の構成を工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 人工知能と未来 多角的に分析して書こう 課題解決のために会議を開く 	<p>知 自分の知識や経験と比べ、筆者の意見や根拠に納得できるかどうか検討しようとしている。</p> <p>思 自分の立場を明確にし、根拠となる事実を引用するなどして、自分の意見を書いている。</p>	書くこと 構成の検討 話すこと 話し合いの進め方の検討 (5~6年)
10	5 自らの考えを <14時間>	<ul style="list-style-type: none"> 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。 文章の種類を選択し、読み手を説得できるように論理の展開を考えて文章の構成を工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 人工知能と未来 多角的に分析して書こう 課題解決のために会議を開く 	<p>知 自分の知識や経験と比べ、筆者の意見や根拠に納得できるかどうか検討しようとしている。</p> <p>思 自分の立場を明確にし、根拠となる事実を引用するなどして、自分の意見を書いている。</p>	書くこと 構成の検討 話すこと 話し合いの進め方の検討 (5~6年)

11		<ul style="list-style-type: none"> ・進行の仕方を工夫し、互いの発言を生かして考えを広げたり、深めたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初恋 	<p>観点を決めて問いと考えを書き出し、表にまとめるなどして分析している。</p> <p>粘り強く表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりし、学習の見通しをもって文章を書こうとしている。積極的に進行のしかたを工夫し、学習したことを生かして効果的な話し合いについて考えようとしている。</p>	
	慣用句・ことわざ・故事成語 (10分×5)	<ul style="list-style-type: none"> ・慣用句などについて理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・慣用句・ことわざ・故事成語 	<p>慣用句やことわざ、故事成語の意味を理解し、使うことができる。</p>	
	書写<6時間>	<ul style="list-style-type: none"> ・今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三年間のまとめ ・私の好きな言葉 	<p>知</p> <p>今までに学習した知識・技能を生かして書いている。</p> <p>忠</p> <p>好きな言葉を書く活動を通して、3年間で学習した知識・技能の生かし方を考えている。</p> <p>態</p> <p>積極的に3年間で習得した知識・技能を使い、自分の好きな言葉を書いている。</p>	毛筆による書写 (3~6年)
12	6 いにしへの心を受け継ぐ (9時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。 ・和歌の表現のしかたについて評価することができる。 ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古今和歌集 ・仮名序 ・君待つと ・夏草 	<p>知</p> <p>三つの歌集の歌を比較したり朗読したりして、それぞれの作者の心情や情景を想像している。作者や作品について興味をもち、俳句と地の文との関係に注意しながら朗読している。</p> <p>忠</p> <p>心情や情景、和歌の表現方法などについて自分の考えをもっている。芭蕉の「旅」についての考えと現代の「旅」がもつ意味を比較し、芭蕉が見たものや感じたことを想像している。</p> <p>態</p> <p>進んで和歌の表現のしかたについて評価し、見通しをもって鑑賞文を書こうとしている。</p>	伝統的な言語文化 (5~6年)
	7 価値を見出す (7時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見出すことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰かの代わりに ・情報を読み取って文章を書こう 	<p>知</p> <p>具体的な情報を基に、着眼点を決めて分析し、自分の考えをまとめている。</p> <p>忠</p> <p>資料から読み取ったことと考えとの関連などについて、改善点を助言し合って推敲している。</p> <p>態</p> <p>粘り強く推敲し、学習の見通しをもって小論文を書こうとしている。</p>	読むこと 精査・解釈 (5~6年)
	読書に親しむ (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エルサルバドルの少女 ヘスース ・紛争地の看護師 	<p>知</p> <p>自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。</p> <p>忠</p> <p>今までの学習を生かして本を選び、読んだことを書評にまとめたりしようとしている。</p>	読書 (5~6年)
1 2 3	8 未来へ向かって (16時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解することができる。 ・場の状況に応じて言葉を選んだり、情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理することができる。 ・三年間の学習を振り返り、「今まで」と「これから」の学びについて考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・温かいスープ ・わたしを束ねないで ・三年間の歩みを振り返ろう 	<p>知</p> <p>時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。</p> <p>忠</p> <p>自分の考えがわかりやすく伝わるように、聞き手の反応を確かめながら問いかけたり、分かりやすく言い換えたりしている。表現のしかたを考えたり、資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。</p> <p>態</p> <p>三年間の学習を振り返り、学んだ知識や技能を生かして学習課題に取り組もうとしている。</p>	読むこと 考えの形成 書くこと 推敲 話すこと 表現・共有 (5~6年)